

住宅団地の再生は、建物や設備の老朽化、空き家・空き地対策、屋外空間・歩行空間の再整備、生活を支援する機能の導入など、多岐の課題を含んでいる。

今回の検討会においては、今後、実態のヒアリング、調査等による情報収集を行い、主に、住宅団地の規模や従前の権利関係・立地特性に応じた再生、生活支援施設などの機能の導入等を考慮した再生のあり方について、検討を行うこととしたい。

※具体的には、例えば以下の視点を念頭において整理を行うこととしたい。

- ・再生手法(建替えによる再生、改修による再生)
- ・建替えの場合の事業の枠組み(全体を一括で建替えるのか、段階的に建替えるのか等)
- ・土地利用(土地の共同化、高層化、個別利用、導入用途等) 等

上の検討を踏まえ、以下のような観点から、円滑な住宅団地の再生を実現するための施策のあり方について、検討を進めることとしたい。

- 事業法的なものを含めた権利調整手法の観点
- 都市計画・建築規制の観点
- 助成等の支援策の観点
- 相談体制の整備、技術的な検討の観点 等